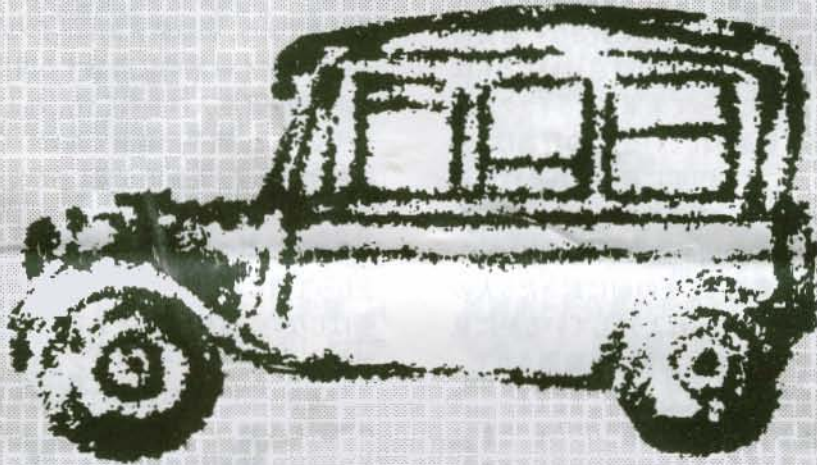


流星

第16号(OB会誌第3号)



目次

	題字	河村芳平先生
	イラスト	伊東 (子44)
巻頭言 自己責任論フィーバー	自動車部顧問	原田 (教授) 2
自動車部OB会会長引き受けの弁	OB会会長	松尾 (キ25) 3
大学自動車部のありかた	自動車部主将	石丸 (機3回生) 4
活動報告・年次計画		4
部員名簿		4
OB会連絡担当あいさつ	自動車部OB担当	徳永 (機2回生) 5
新部員・入部の動機、決意など		自動車部1回生 5
特集 H15年度OB総会		
総会を無事終えて	15年度総会準備委員	前田 (鉦32) 5
総会準備の裏舞台	15年度総会準備委員	桂 (設機 H7) 6
OB会総会に参加して	九州地区幹事	伊東 (子44) 7
総会予告・「愛・地球博」+H17年OB会総会	中京地区総会準備室	山本 (制46) 7
報告・OB会総会・小倉で開催		8
総会議事録		8
記念写真・総会出席者名		9
改正・OB会会則		9
会計報告・決算・予算	会計部誌担当	嘉村 (化33) 10
思い出のアルバム		10
会員名簿・役員名簿		11~15
編集後記	会計部誌担当	嘉村 (化33) 15
写真・OB総会風景		16

九州工業大学責善会自動車部
明専・九州工大自動車部OB会

自己責任論フィーバー

責善会自動車部顧問 原田

昨年3月20日、イラクの自由作戦と銘打って始まったイラク戦争は、同年5月1日、ブッシュ大統領の米空母エイブラハム・リンカーン艦上での戦闘終結宣言により、一見早期解決したかに見えた。しかしその後の一年間の動きは、マスコミの報道のとおり、泥沼化しつつある。6月末までの全面統治移譲がうまくいくのか予断を許さない情勢にある。ともかく、戦争の大義名分が今の時点にいたるもはっきりしない中で、5月連休に入って米軍によるイラク人捕虜虐待のニュースが連日報道されている。この行為は、米国がいかに弁明しようとも、1949年に締結された戦争における民間人と捕虜の取り扱いを決めたジュネーブ諸協定(第三条約)違反で今後の動向が注視される。

さて、今回の捕虜虐待報道で、その前に起きた5人の邦人人質事件が急速に忘れ去られようとしているかに見える。ここではその事件の最中に加熱して論議された、「自己責任」にスポットを当てて考える。

ここ10年来、工学教育に関わり、これからの技術者に求められるコミュニケーション能力の重要性について議論してきた。無事解放された中の一人、今井君の記者会見で受け応えを覗いていると、とても今春高校を卒業したばかりの若者とは思えないような堂々としたもので、感心した。自己を外に出さず、いつもニコニコ、何を考えているのかわからない、アルカイクスマイルと揶揄された我々世代(中高年以上)に対する外人の評価は昔話で、コミュニケーション時代に育った若者には、会話力不足は杞憂に過ぎないのかもしれない。しかし、解放された5人の人質の方の会見を覗いていると、福田官房長官の言を待たずとも、『親の心子知らず』の感がした。

NGOをバックにした支援活動、劣化ウラン弾を被弾した人々の被害調査、フリーのカメラマンとしての戦地の報道、——、各人各様の理念の下、現地に積極的に赴いて活動されていることは、素晴らしいことである。阪神大震災を契機に被害者援助活動として若者達の間に自然発生的に起こったボランティア活動は、今日ではすっかり定着している。今回の人質の方の活動も精神的には、その延長線上と思われるが、国際舞台となると、国内活動とは異なる。100人集まれば100種類の正義があると言われるが、客観的にみて、彼らが自己の信念に基づいてとった行動は、支持こそされ、非難される筋合いのものでないことは自明である。しかし、よかれ、正しいと思った行動も、結果的には多くの人々を混乱の渦中に巻き込んだことも事実である。いわゆる自己責任論過熱報道の影響か、彼らの帰国の際の扱いが、まるで犯罪者のようだと、外国メディアが報じたそうであるが、我が国は我が国のスタンスをはっきりすべきである。喉元過ぎれば何とかで、今更、

議論を蒸し返す気もしないが、我が国は、マスコミが世論の主導役で、社説で自己責任論を真っ先に展開した読売新聞、また、彼らがアンマンから紛争地域のファルージャへ向かうときにとった行動に対するNGO幹部の説明——そこからの展開をみているとどうも中途半端なところで一件落着である。私は個人的にドイツが好きであるが、ドイツ人は何事にも徹底的に議論する国民である。それに引き替え、我々日本人は少なくともこれまでは、熱しやすく冷めやすく、また、相手を議論で論破してしまうような論理力も持ち合わせず、表面的な優しさがカモフラージュしている国民でやってきた。

その昔、聖の聖徳太子は憲法十七条(602年)で、『和をもって貴しと為す……』と決めたため、その後、個人主張はしない、出る杭はうたれる、他人と協調、等々の精神が我々日本人のバックボーンとされてきた。しかし、同憲法の最後に『それ事は独りで断(さだ)むべからず、必ず衆(もろもろ)と論(あげつらう)べし』と定められ、他人と議論することの重要性が指摘されている。むろん五箇条御誓文の第一条『広く会議を興し万機公論に決すべし』も然りである。お互いに、もう一度歴史を勉強しなければならない。

今回の人質事件及び付随して発生した自己責任論争を外観して思うことは、我々大和単一民族と言いながらも、敗戦国としてのトラウマをいまだに引きずっているためか、国民に共通するような座標軸を持ってないことが問題である。経済不況、年金問題、少子高齢化社会、貧富差拡大、二極分化社会、どれ一つとっても、世代を越えて納得できるコンセンサスを形成するための議論が必要と思われるが、いつも難しい問題は先送りするため、世直しをどうするか、抜本的に議論する時期はとっくに到来している。

最後に、数年来議論の的となっている、教育改革と関連して『ゆとり教育』について一言。益々小さくなってゆく地球上で、無事生きてゆくためには、何をどのように勉強すればよいか、について2002年度よりスタートしたゆとり教育は、お題目は立派である。自ら学び、判断し、行動する、(暗に自己責任もとれるような)生きる力を育むのがゆとり教育の神髄である。従前に比べて学習時間や内容が減っているため、生きる力を涵養するには、少しお勉強の要求量が少ないのが気になる。遠山前文部大臣の発言で、ゆとり教育路線が少し修正されたが、ともかく、自己主張ができ、世界民族の一員として、広い視野に立って行動できるような子供達が育ってくれば、我が国はまだまだ捨てたものではない。修正バージョンのゆとり教育の成功に期待したい。ただし、そのためには、仕上げを担当する大学人は、教育に益々エネルギーを注がねばならない。平成16年5月9日付(工学部機械知能工学科教授)

自動車部OB会会長引き受けの弁

自動車部OB会会長 松尾

OB会の幹事の一人から手紙が来て、「OB会会長は、九州在住の方で、自動車部に深く関わってきたあなたしかいない」と説得されて引き受けました。

自動車部OB会員名簿をみると、先輩で九州在住の方が14名もいらっしゃるのを飛び越えて、甚だ申し訳ないと思っています。

さて、無手勝流ともいえる私が今からやる事といえば、役員や会員の方々の意見に従って、自然体で対処していくしかないでしょう。

私は皆様方と同様に、「自動車部を卒業しました」と胸を張って言える一人だと自負しています。社会人となり、機械設計開発の仕事で永年経験しましたが、自動車部で鍛えられた様々な事が大変役に立ちました。諸先輩、同僚、後輩でお世話になった方々に心から感謝申し上げます。この機会に56年前の数年を振り返ってみたいと思います。

私は昭和22年に明専に入学し、入寮と同じ日に、同室になった中野大典君と一緒に自動車部に入りました。そのころは自動車に乗ろうと思っても、普通の稼ぎでは、中々かなわぬ夢でした。

幹事さんはキ23の田中圭三さん、同じく三重野宗一さんでした。今、大阪でご活躍の外谷圭一さんや、佐座昭三郎さん、久保昭夫さんなどは恐い存在でした。テ24の高野聖也さん、カ24の真那子晃一さんも幹事部屋で存在感がありました。

田中圭三さんから言われたことは、「おまえ等車庫に来て車の整備をしっかりせよ運転させんからな。」という厳しいお言葉でした。あきらめて、せっせと車庫に通ってエンジンの分解、パルプシートの手研磨、組立て、タペット調整、点火プラグのカーボン掃除に励みました。

昭和22年と言えば、新莊謹一教授が自動車部の部長になって頂いた年でした。日産自動車では、アメリカから輸入ストップになった歯切り工具を解析して国産化に成功され、自動車生産に大変貢献されたと同っております。

部長として、自動車部の維持発展に大変ご尽力されました。ところで先生は自動車免許を持っておられなかったもので、「先生、免許を取って下さい。」と言って、その時ばかりは学生の方が先生です。面白い体験をしました。

二年生の時には高野聖也さん、真那子晃一さんの御兩名が幹事で、ずいぶん真面目にしごかれましたが、車の整備も手馴れてきて、運転もかなり出来るようになってきました。

その頃、運転マニュアルを作りました。すなわち、運転技術をAクラスからDクラスにランク付けし、Aクラスは、一

人で校外運転許可、BクラスはAクラス指導のもとに運転許可、CクラスはA・Bクラスの指導のもとに、構内の行幸道路（現在の正門から西門までの木立のなかの細道）運転許可。Dクラスは校内の免許練習の時のみ運転許可というものでした。このクラス判定は幹事が行います。従って、常に車の整備に精を出す人の運転がより上達し、上のクラスになる可能性がありました。

私が二年生になった時に、世の中は広いようで狭いなあという偶然を経験しました。忘家寮10室に配置された新入りの学生の名前が「佐武龍雄」となっていたのです。彼とは昭和19年、東京陸軍幼年学校の第四訓育班に同席した間柄でした。昭和20年8月の終戦によって、二人は福岡市と大分県のお母さんの実家に分かれたきり、音信不通でした。同姓同名の人もあるものだなあと興味半分で待っていたところ、現れたのは正しく昔の戦友の顔でした。やあ奇跡も有るものだなと大いに感激した次第でした。

三年生の幹事は、酒井通光君、溝口泰生君と私の三人でした。春休みを利用してAクラスの三人で学校の彗星を借用して、炭坑にアルバイトに出かけました。酒井君、溝口君とも故人になられたので、私が代表して記憶を辿りましょう。彗星を借用する学校側の条件としては、ガソリンを1ドラム寄付せよというものでした。始めは軽く考えていましたが、これが大変な重荷となりました。

炭鉱地帯は道路事情が悪く、また、過剰積載を強制されるため、二週間目には、重ね板バネが折れてしまいました。バネの購入と取り替えに要した費用は大きく、二十日までは赤字が続きました。その上、雇用主の方が学生と思っただけで中々支払いをしてくれません。遂には座り込みをして、支払いを強要することもありました。約束の三十日目にはやっと黒字を確認し、ガソリン1ドラムと、一人あたり三千円程度のアルバイト料となります。打ち上げは回転焼き3個ずつという厳しいものでした。しかし、この経験は後から考えてみると経営そのものでした。このアルバイト行きを支えて頂いた新莊先生に最敬礼でした。

次の幹事が佐武君を中心とした方々で、松田範之君、島昭人君、後藤侃之君、川崎博久君、後藤哲二君などが登場してくることになります。

とにかく、この「OB会会長」を誠心誠意2期・4年間務めたいと覚悟しております。副会長の廣田さん、尾辻さんほか役員の皆さまよろしくお知恵とお力をお貸し下さい。

そしてOB会員みなさん、自動車部OB会をより発展させることにご協力下さい。

松尾 (キ25) 04. 4. 13記

大学自動車部のありかた

責善会自動車部主将 石丸

(機械3回生)

先輩の皆さまにはご清勝のこととお慶び申し上げます。
平素は自動車部にご指導、ご鞭撻を賜り、有り難うございます。

私は今年主将を務める、機械3回生の石丸昌宏と申します。昨年11月の自動車部OB会総会に出席させていただきました。総会の成功おめでとうございました。

現在の自動車部は部員13名でそのうち新部員は3名です。少ない人数で、ラリーやジムカーナ、ダート等の各競技に参加したりそのサポートにまわったりで、部員それぞれが頑張っております。

昨年の実績は、6月21日のサファリ in 九州ラリーで1位を、また今年2月9日の TeamCCSU ジムカーナでも同じく1位を勝ち取りましたが、それ以外の競技では苦戦

を強いられました。

私は大学で機械工学を学び、部活動を通して得た知識なり経験を生かせたらと思い、自動車部に入りましたが、部活動の大半がこうした競技会やそのメイキングに追われ、志とはいささか違うギャップも確かにあります。

しかし、諸先輩が築いてこられた実績を我々現役がダウンさせることも出来ないと、練習などに頑張っておりますが、入部する新入生の少ないことも悩みの一つです。

「流星16号」の原稿に取り組みながら、OBとの交流をもっと増やし、いま我々が直面している悩みや問題点を率直に聞いてもらえる、そんな時間と場所があったらいいなと思っています。

今後ともOB方のご助言、ご援助をお願いいたします。

—報告—

活動報告・年次計画

2003年 ラリー

- 3/1~2 JMRC 九州ラリーJrシリーズ第1戦
V RALLY meeting'03 Cクラス 3位
- 4/6 JMRC 九州ラリーJrシリーズ第2戦
KOC チューリップラリー'03 Cクラス 2位
- 6/21 JMRC 九州ラリーJrシリーズ第3戦
サファリ in 九州2003 Cクラス 1位
- 9/21~22 JMRC 九州ラリー Jr シリーズ第4戦
CRMC ラリー in 九州2003 Cクラス 2位

2003年 ジムカーナ

- 2/9 JMRC九州ジュニアチャンピオンシリーズ第1戦
AZLEA TECHNICAL SLALON N2クラス 3位
- 2/9 JMRC九州ジュニアチャンピオンシリーズ第6戦
Team CCSU ジムカーナ2003 F2クラス 1位
- 8/10 JMRC九州ジュニアチャンピオンシリーズ第7戦

- アクティブ ワン ジムカーナ2003 N2クラス 3位
- 9/7 JMRC九州ジュニアチャンピオンシリーズ第8戦
BS杯 TBK 2003 ジムカーナ N2クラス 3位

2003年

- 11/23 OB会総会に主将・OB担当参加

2004年 ラリー

- 5/2 JMRC 九州ラリーシリーズ第2戦
KOC チューリップラリー'04 Aクラス NV. 3位
- 7/10 JMRC 九州ラリーシリーズ第2戦
FMSC マウンテンラリー2004 Aクラス NV. 3位

2004年 年次計画

- | | |
|--------------------------|------------|
| 4月 入学式・部員勧誘 | 12月 山口大常磐祭 |
| 5/22~23 ACK SPRING RALLY | ジムカーナ |
| 10/30~31 KIT NIGHT RALLY | 3月 追い出しコンパ |
| 11/19~21 工大祭 | 卒業式 |

自動車部部員名簿 (04・9・1現在)

役職	氏名	学科学	出身校	氏名	学科学年	出身校
監督・会計	西野	機械・3	県松山南高(愛媛)	安倍	電気・M1	東香住ヶ丘高(福岡)
主将・ラリー	石丸	機械・3	県佐賀西高(佐賀)	田口	機械・4	県口加高(長崎)
委員長				泥谷	機械2	県北筑高(福岡)
OB会連絡	徳永	機械・2	県筑紫丘高(福岡)	藤川	機械2	県北筑高(福岡)
	石塚	機械M2	県立甲南高(鹿児島)	平塚	物質1	県致遠館高(佐賀)
	西本	物質・4	県長崎東高(長崎)	国吉	電気1	広島城北高(広島)
	犬丸	機械M1	香椎高(福岡)	倉木	物質1	県松山南高(愛媛)

OB会連絡担当あいさつ

機械2回生 徳永

この度石丸さん(主将・機械3回生)から、OB連絡員を引き継ぎました、機械知能工学科機械科学コース2回生の徳永英之と申します。

今後「流星」や、OB会に関する自動車部の窓口は自分

が担当します。よろしくお願ひします。

新部員・入部の動機、決意など

自動車部一回生

平塚 (物質)

自分が自動車部に入ったのは、単刀直入に車が好きだからです。車が好きな他人から、言わせるとまだまだかもしませんが、自分はこれからもっと車を好きになってレースなどに出れるようになりたいと思います。

ただ自分はこの一年間、都合上佐賀からの通学のため、他の新入部員の二人と比べて、なかなか活動ができません。今年一年は我慢の年ですが、なるべく車庫に寄れるよう努力して、二人に追いついていけるように頑張っていきたいと思います。

国吉 (電気)

自分が自動車部に入部した動機は、自動車が好きなものより、ラリーに挑戦して見たいからです。しかも親がマツダで働いているのでマツダ車でラリーをしたいと思っ

ています。

これからは自動車部の一員として、自動車に関する知識を身につけ、自分で完璧に自動車が整備できるようにして、運転技術の向上に努力していき、自動車部の名に恥じないドライバーになれるように頑張りたいです。どうぞよろしくお願ひします。

倉本 (物質)

自分が自動車部に入部したのはこれから自動車を持ったときに、自分で整備できたらいいなと思ったからです。どんなメーカーの車でもバッチリ整備できるように、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。

最後に、この自動車部で大学生活を充実したものにできるよう、頑張りたいと思いますのでよろしくお願ひします。

総会を無事終えて

15年度総会準備委員 前田 (鉦32)

総会も無事終了し、つとめを曲がりなりにもはたして、ホッとしている。

思い起こすと、社会に出るの第一歩は、かの有名な長崎港外にある『軍艦島』=端島勤務であった。島暮らしが長く、級友と席を暖める機会も、同窓会に出席するチャンスも少なく、その面で同窓会音痴になった。

教員を始めてからも10年間のブランクは大きく、次第に出席のチャンスは遠のき先輩や、若手の方々と話し合うことも稀になった。

65歳で定年し、福岡支部の会合に友人の世話役に誘われて話を聞き、卓話も引き受けて『わが青春の流星号』を思い出として話をしても、知らぬ顔の方々が多く、なかなか馴染めなかった。

自然面白くなく足が遠のき元の木阿弥である。

教職にあり、或いは学校こそ同窓会のメッカではないかとお叱りを受けそうだが、どうも苦手である。不馴れは許していただきたい。

今回も自動車部の会合が小倉であるとの事、しかもK氏の誘いなので気軽に出向いた。

ところがどうだろう。準備委員長をやれとの仰せである。驚いて石飛先輩に委員長に座っていただき下働きに徹する。医者の不養生ではないが、同窓会嫌いが同窓会の世話をする羽目になり、本人が一番面食らっている次第であった。

会は、申込期限が迫っても参加希望者は予定数に大幅に足りない。「しめた、中止だ！」と嘉村氏や委員の伊

東氏、桂氏に中止の電話をする。だが、どうして、どうして「もう少し待ってみましょう。まだ期間が残っていますし。」と意外な粘り腰である。

その言葉に反応したのか、彼らの熱意が勝ったのか、期限を過ぎてもポストの中には参加希望のハガキがボツボツと、しかも延々と入る。短気者には貴重な精神修養の時期でもあった。

最終的には36名と出席者も増え、明専・九州工大自動車部OB会第一回総会は盛会裏に終わった。有り難うございました。

— 総会特集 —

総会準備の裏舞台

15年度総会準備委員 桂

(設機H7)

昨年5月、嘉村先輩よりOB総会協力依頼のハガキが届き、あまり深く考えずに会場に行ったところ、そこには私の2倍の年齢はあろうかと思われる大先輩方が集まっておられた。「これはまずい」と思ったが、時すでに遅し。なんと数十年ぶりのOB総会の準備委員になれと言われ、「い、いや、それはちょっと・・・」と内心思っていたのだが、断る間もなく気が付くとOB会参加要請活動の命を受けていたのである。OBといっても古くは昭和17年卒業から平成15年卒社会人ホヤホヤのOBまで幅の広さは大変なもので、結局「自分の手の届く範囲しか声はかけられない」ということで了承していただいた。

それからは主に電子メールで先輩後輩手当たり次第連絡先を聞きまくってOB総会開催の周知活動を行った。しかし私の手が届く30代から40代前半のOBの皆さんは仕事や子育てなどなにかと忙しい年代でもあり、「参加したいのだけどちょっとその日は・・・」という感じの回答が多かったが、中にはその日のために関東から帰ってきてくれるとのうれしい返事をくれるOBも数名いたので、状況に反し楽観的に構えていた。

そうこうしているうちに最終出欠確認のハガキが同封された流星15号が発行され、ぼちぼちハガキが返送され始めた。楽観的に考えていた私以外の準備委員諸先輩方はこのようなケースも想定されていたのかもしれないが、締切直前になっても「参加」に丸しるしの付いた返信ハガキは大変少なく幹事長の前田先輩からは「参加者が少ないので中止してはどうか」との打診があるほどだった。しかしメールのやりとりで参加表明をしたOBのハガキがほとんど届いていないことがわかったので、「まだ時間もあるしもう少し待ってみませんか？」と返事をし、参加予定のOBたちにハガキを今すぐ出すようあわててケツをたたいた。さらに情報工学部の尾辻先輩現役自動車部員にも手助けしていただき、まだ声の届いていないOBを掘り起こしていったところ、「これはいけそうだ」との手応えがあった。

会の中で国鉄で活躍された先輩Hさんが、自動車部での経験を生かして同僚の国鉄マンの鼻を明かした話を、少年のような顔で嬉しそうに話しておられるのを見たときは、同じような体験をただけに、嬉しかった。

それやこれやで、矢張りお世話させていただいて良かったと思うこの頃である。

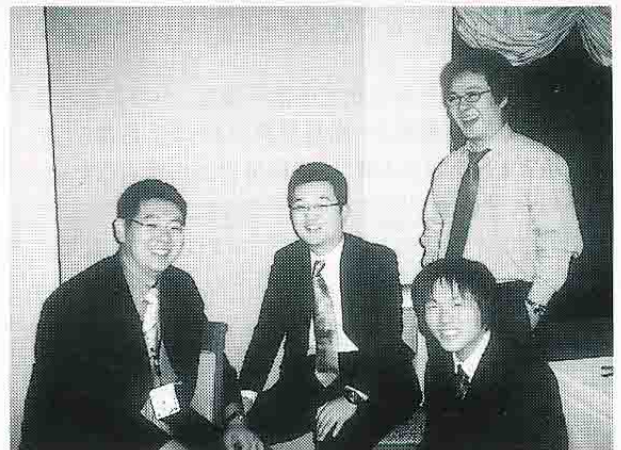
ただ当日は、昼過ぎに結婚式の披露宴に出席したりで二次会への参加を待たずにダウンしてしまい、申し訳なっています。今後、自動車部OB会の運営については、出来る限り応援を致したいと思っています。 H16.4.12

そこで第2回の準備会(03.11.1)では伊東先輩とともに決行の立場をとったが、さすがに第2回の準備会から総会開催までの間は、本当に参加者が増えるのか実はちょっと弱気になっていた。

そんな心配もよそに、ぼちぼち私に近い年代のOB連中から参加のハガキが届き(この辺ののんびりとしたところは学生時代とかわっていないようだ)、何とか参加者も増え、無事第1回OB総会を終えることができた。

この様に開催までは順風満帆とはいえない状況だったが、終わってみれば参加者のみなさんから「本当に楽しかった」「来るかどうか迷ったが来てよかった。次は今回来られなかった連中も誘おう」と口々に言ってもらったので、私の中では今回の総会はまずまずの成功かな?と思っている。

次回はいつ開催するのか、どこで開催するのか、まだ全くわからない状態だが、次回の実行委員に運良く?指名された方へのアドバイスとして「参加者倍増作戦」をぜひ実行して貰うよう強くお願いします。(とか言っていたら自分が指名されるハメになるかも・・・)



総会での懇談風景03.11.23

OB会総会に参加して

九州地区幹事・伊東

(子44)

卒業以来35年が過ぎてしまいましたが皆さまと同じように自動車部卒業といっても過言ではなく、ラリーにフィギュアにと明け暮れていたものです。

大分放送と云うローカル局に勤務し番組の中継や制作にかかわりながら、パリダカで活躍する川越君の姿をブラウン管の中で発見するにつけ自分も道を間違えたかどうやらやましく思っていました。

番組イベントの中で篠崎健次郎氏とも話す機会があり胸躍らせたものでした。その様な訳で社会人となってからも卒業した自動車部からは何となく抜け出せずにいた感があります。

先日も会社の勤務表を綴っているバインダーを裏返してみると九州工大自動車部の名前とラリーの補整係数の計算式が書かれているではありませんか。！ 35年振りに発見して今日まで現役で使われていたことに不思議な感じさえしました。

その様な日々を送るなか昨年にはOB会総会が開かれ

ました。前田先輩、嘉村先輩の呼びかけで準備会を経てやっと開催の運びとなりました。

総会には少しでも多くの方々の参加を戴きたいと卒業年次の近いOBの方々に電話等でも連絡を致しました。直接お話が出来て近況報告を交わしながら都合がつかず参加できなかった方々も数多くおられました。

しかしながら私にとっては同じ大分出身でありながらなかなかお逢い出来ずにいた加藤先輩(電42)と隣の席で話が出来たことは嬉しい限りでした。又、宮崎から参加の尾崎先輩とは共栄舎クリーニング時代の住み込み配達仲間として後輩の八木君とともに機会あるごとに **串カツ**「宮川」の宮川信也氏の所に集まり、ゴルフコンペをやっております。次回の総会は希望者ゴルフパックで参集とはいかないものでしょうか。

今回の総会に参加して思うことは卒業以来一回も逢っていなかった仲間が、数十年のギャップを越えて話はずんだことです。今後もこの様な機会を持ち続けたいものです。

— 総会予告 —

「愛・地球博」プラスH17年OB会総会

中京地区・総会準備室 山本

(制46)

来年は「愛・地球博 EXPO 2005 AICH I JAPAN - 2005年日本国際博覧会」が、2005年3月25日～9月25日までの185日間、愛知県名古屋市に隣接する瀬戸市と愛知郡長久手町の二箇所の会場で開催される予定で、前売り入場券も好調に販売されています。

OB会誌担当からもお話がありましたように、せつかくの万博開催の時期ですので、自動車部OB会総会を名古屋地区でぜひ開催してはと思う次第です。

時期的には9月の初旬(3日～4日または10日～11日)の土曜日・日曜日を考えております。万博開催当初は非常に混雑するでしょうし、学校の夏休み期間も大変な混雑が予想されるからです。

土曜日の午後から自動車部OB会総会を行い、その日は名古屋に宿泊、日曜日に万博会場へ行くのはどうでしょうか。

行ってみようかと思われる方には前売り券を買っておくことをお勧めします。今なら15%引きで購入できます。入場券には色々な種類があるようです。例えば、

全期間入場券(期間内に何回でも入場可能) = 17,500円

夜間割引入場券(午後5時以降に入場) = 2,300円

特別割引券(障害者及びその介護者) = 2,300円

その他、平日用として一般団体割引入場券、平日家族割引入場券、平日回数割引入場券等が用意されております。

当日券は4,600円ですが、第一期前売りは3,700円でしたがすでに売り切れです。第二期前売り(H16.4.1～H16.9.30)は3,900円です。第三期前売り(H16.10.1～H17.3.24)は4,100円です。

全国の主な旅行代理店、プレイガイド、交通機関窓口、コンビニ、インターネット等で販売しておりますので、各自お求め頂きたいと思います。

ホームページは <http://www.expo2005.or.jp> です。いずれにしても、今年10月3日中京地区のOB会を開催し、詳細を決める予定です。

OB会誌編集担当からも、「流星17号」にその実行要領を掲載するように話があり、一人でも多くのOBの参集をはかりたいと思いますので、その節は各OB及び各地区の幹事の方のご協力を心からお願いいたします。

2004. 8. 30

(明専・九州工大自動車部OB会中京地区)

自動車部OB会総会・小倉で開催

平成16年11月23日、16時より北九州市小倉北区・小倉ステーションホテル7階「ドゥ・ラ・ガール」で、自動車部OB会総会が開かれた。

OB会総会は昭和41年1月、当時の戸畑市中原、工大自動車部部室で開かれた第1回OB会総会より実に38年振りの総会ということになる。

総会は現部長原田 教授(工学部・機械知能工学)をはじめ石飛地区幹事(ヤ22)廣田会長代理(電 29)、尾辻副会長(子57・情報工学部教授)、などOB各位と現役部員2名を含む総数36名が参集し盛大にとりおこなわれた。

総会は伊東委員(子44)の司会、石飛幹事(準備会代表)の開会の言葉に始まり乾杯・会食をはさみ実に3時間にわたっておこなわれた。現役部員の活動報告、OB会の活動・会計報告や、後藤会計監査役(鉦28)の会計監査報告・会則改正案及び新役員人事などが承認され、各OBのユーモアを交えた自己紹介などに笑いの渦と「有望」のかけ声かとび、あつという間の3時間であった。

引き続き同会場での二次会も16人が参加する盛会でさらに3次会に繰り出すグループもあった。(2次会には原田教授より会費の足しにとお心付けを戴いた。)

今回の総会開催に当たっては平成15年5月24日17時より小倉リーセントホテル(北区大門)で第一回の総会

準備会が開催され、前田 氏(鉦32)、吉武 (鉦39)伊東 氏(子44)、桂 (設機H7m)、嘉村 (化33)の5名が準備会の役員を務めることになった。

この後、前田代表幹事(総会当日は副幹事として)が会場の設定に尽力され、足場の良い小倉ステーションホテルが会場として確保された。さらに11月1日会場の下見を兼ね、第二回準備会が開かれ総会当日の進行などにつき打ち合わせを行った。実はこの時点では参加者の回答が芳しくなく一部には中止もやむナシの声もあったが、桂委員などの積極的な発言から、決行が決められた。

当日の開会前の打ち合わせ時点では、予定参加者のほかにさらに2名の参加要望があり、結局ふたを開けてみると36名参加の大盛会であった。

特に今回は桂委員や、尾辻副会長などの働きで、メールなどの活用で多数の参加を呼びかけていただき、「文明の利器」にとりあえず脱帽であった。

また、今回、正式に九州工大を卒業した者ではなくても、在学中に同じように、むしろそれ以上に部活に熱心だった中退OBも多数参加いただいたことはOB会の今後のあり方にいろいろ考えさせられた総会でもあった。

OB会がとすれば昔話の場に終始する中で、現役に対する援助のあり方も議論され、こんごの課題となった。各OBの前向きなご意見をお待ちします。(嘉村・記)

自動車部OB会総会大会議事録

と き 平成15年11月23日(日) 16:00~19:00
ところ コクラ・ステーションホテル(7F)ドゥ・ラ・ガール
参加者36名(顧問1名 会員31名 院生2名 学生2名)
委任状68通 合計99 正会員総数130(03.11.23現在)
よって大会は成立した。

報告と承認事項

14年度活動報告・決算報告(流星第15号記載済み)

総会決議・承認事項

16年活動計画・各地のOB会活動を盛んにし、OBの連帯を深める。

OB会会則改正 会費の増額=現在の年500円を1,000円に、事務局設置、その他

16年度予算案 来春の役員会で検討予定

16・17年度役員(敬称略)

本部役員

会 長 松尾 (キ25・福岡市)
副会長 廣田 (電29・千葉市)
副会長 尾辻 (子57・戸畑区)
常任幹事・事務局 前田 (鉦32・八幡西区)
会計・部誌担当 嘉村 (化33・岡山市)
会 計 監 査 後藤 (機28・太宰府市))

地区役員

九州地区幹事 伊東 (子44・大分市)
副幹事 桂 (設機 H7・水巻市)
部誌担当兼任
東京地区幹事 川崎 (化32・船橋市)
副幹事 門司 (金37・国分寺市)
中京地区幹事 中野 (キ25・名古屋市)
副幹事 本多 (化35・名古屋市)
関西地区幹事 立松 (テ22・芦屋市)
副幹事 安光 (電32・姫路市)



総会出席者名(36名)

原田	教授	藤田	電44	渡邊	機H8
石飛	ヤ22	伊東	子44	中澤	電情H8
後藤	敏28	坂本	子45	森若	設 建H9
廣田	電29	山本	機46	小早	設機H10
前田	敏32	尾辻	子57	藤井	設 機H11
安光	電32	白水	子57	中村	設 機H11
嘉村	化33	小川	金59	岩本	設機 H12
野口	機38	福田	機 II H3	柴田	設生H14
松本	電39	川口	電計H6	松本	機 M2
山田	金41	原田	物材H7	石塚	機 M1
加藤	電42	桂	設機H7	西野	主将機3回生
尾崎	化42	小西	設機 H8	石丸	OB担2回生

明専・九州工業大学自動車部OB会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は明専・九州工業大学自動車部OB会と称し本部事務局を北九州市八幡西区大浦3丁目7-5前田勇吉(敏32)宅に置く。
- 第2条 本会は自動車部OBを主体とし、会員相互の扶助親睦を図るとともに、現役自動車部の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的達成のため、次の事業を行う。
①会員総会 ②地区部会 ③現役役員との交歓会
④自動車部への援助 ⑤その他
- 第4条 本会は次の会員をもって構成する。
①通常会員 自動車部OB
②特別会員 部長、顧問、参与で役員会が要請し受諾を得たもの。
③賛助会員 同部に協力するもので、役員会によって推薦し総会で承認されたもの。

第2章 役 員

- 第5条 本会は次の役員を置く。
①会長 1名 ②副会長若干名 ③幹事(常任幹事1名を含み若干名) ④会計 1名(副会長兼任を妨げない) ⑤会計監査 1名 ⑥顧問 若干名
- 第6条 前条の役員は、会員中より前期役員会によって推薦し総会で承認を得る。
- 第7条 会長は本会を代表し、且つ会務を総括する。
2 副会長は会長を補佐し、会長不在の際はその職務を代行する。
3 幹事は予算決算、その他会務を審議執行する。
- 第8条 上記役員任期は2年とする。ただし重任、兼任を妨げない。

第3章 会 議

- 第9条 本会の会議は、総会、支部会、役員会とし会議の議決

は出席者の過半数の賛成をもってする。

- 第10条 総会は、本会最高の議決機関でもあり会長がこれを召集する。
- 第11条 ① 定例総会
- 第12条 ② 会員の5分の1以上の要求があったとき
- 第13条 ③ 会長が必要と認めるとき。

第4章 会 計

- 第11条 本会の経費は会費及び寄付金をもってこれにあてる。会費は1年分1,000円とし2年分2,000円を徴収する。
- 第12条 本会の会計年度は1月1日に始め、同年の12月31日に終了する。

第5章 地区部会

- 第13条 本会は地区部会を九州、関東・中京・関西に設置する。
2 その他の地区部会は本会に届けて設置することができる。
- 第14条 地区部会における役員・細則は、地区の会合によってそれぞれ定めることとする。
- 第15条 2 地区幹事は本部役員との兼任を妨げない。地区役員の変動はその都度本部に通知するものとする。

第6章 細 則

- 第16条 本会会則の改正は総会参加総数の3分の2以上の賛成を必要とする。
- 第17条 会員は住所氏名、電話番号などに変更があったときは直ちに本部に連絡するものとする。
2 会員は本人及び他の会員の移動、名簿の誤記、欠落など本部に通知するものとする。
- 第18条 本会は年に1回ないし2回、会報「流星」を発行する。
- 第19条 本会会則は昭和41年1月26日から有効とする。
- 第20条 本会会則は平成15年11月23日改正施行する。

OB会基本会計決算 H15.1.1～H15.12.31

収 入	支 出
前期繰り越し 振込会費 (手数料控除後) 現金会費 OB会へのカンパ 15年総会余剰金	流星15号経費 事務通信費 特別会計へ返済 繰り越し (期末残高)
合 計	合 計

「流星15号」収支内訳 H15.11.11

収 入	支 出
基本会計より 自動車部カンパより	印刷製本代 郵送費・切手 糊付きポリ袋 版下用品 予備費

平成16年基本会計予算 16.1.1

収 入	支 出
前期繰り越し 会費収入 寄付金	流星16号経費 事務費等 流星17号経費
合 計	合 計

流星16号予算 H15.11.23

収 入	支 出
基本会計より 自動車部(現役)の 分担金は求めない	印刷製本代 郵送費・切手 糊付きポリ袋 版下用品 予備費
合 計	合 計

OB会へのカンパ者名 H14.7～H15.2

年月日氏名	金額	年月日氏名	金額
7/22 中野		12/27 藤井	
7/24 門司		12/30 西岡	
7/29 白水		" 犬塚	
8/8 野見		" 吉武	
" 廣田		15/2/15 山下	
9/17 伊東		11/23 藤田	
10/9 平位			

自動車部(現役)あてのカンパ者名 H14.7～12.31

年月日氏名	金額	年月日氏名	金額
7/16 紀田		8/14 孝橋	
" 川村		9/17 伊東	
7/22 中野		10/9 平位	
" 早田		12/27 藤井	
7/29 白水		12/30 西岡	

寺田氏慶弔金協力者名(OB会扱い) H14.9.27

年月日氏名	金額	年月日氏名	金額
7/15 大井		7/22 早田	
7/16 高見		7/14 孝橋	
7/16 中島		9/17 木庭	
7/17 谷口		9/25 嘉村	
7/19 稗田		12/30 坂田	
7/22 網田			

H15年総会収支報告 H15.11.23

収 入	支 出
一般会費 (院生) (学生) 会費合計 寄付金(伊藤 氏遺族・廣 田・尾辻)	宴会費・看板 往復ハガキ 切手代 名札 写真関係 基本会計へ
合 計	合 計

思い出のアルバム(提供写真募集)



お断り

会則の改正施行に伴い会計年度を変更しました。従ってこれまでの数値と合わない場合もあります。

自動車部OB会員名簿

科	年	氏名	郵便番号	住 所	電話番号
キ	17	田			
キ	18	芳			
キ	18	馬場			
キ	18	山			
キ	19	佐野			
テ	19	山			
キ	20	本			
テ	20	子			
コ	20	星			
キ	21	平			
テ	22	渡			
ヤ	22	上			
キ	22	妻			
キ	22	立			
キ	22	石			
キ	23	飛			
キ	23	大			
キ	23	野			
キ	23	紀			
キ	23	小			
キ	23	坂			
カ	23	本			
テ	23	谷			
カ	24	青			
カ	24	森			
キ	24	山			
キ	25	本			
キ	25	島			
キ	25	崎			
キ	25	白			
テ	25	中			
コ	25	松			
キ	25	尾			
テ	26	所			
コ	26	別			
キ	26	松			
キ	26	後			
テ	26	塚			
機	26	山			
治	26	崎			
機	28	川			
機	28	後			
機	28	山			
機	28	田			
機	29	島			
機	29	城			
電	29	山			
鉦	29	田			
機	30	廣			
機	30	中			
機	31	渡			
機	31	河			
機	31	古			
機	31	藏			
電	32	前			
化	32	楠			
化	32	安			
化	32	等			
化	32	川			
機	32	山			
機	33	丸			
機	33	齊			
機	33	池			
機	33	小			
機	33	中			
電	33	原			
電	33	古			
治	33	川			
化	33	屋			
化	33	村			
化	33	吉			
化	33	松			
化	33	久			
化	33	保			
化	33	田			
化	33	柏			
化	33	木			
化	33	村			
機	33	林			
機	33	田			
機	34	富			
機	34	白			
機	34	橋			
機	35	信			
機	35	進			
機	35	本			
機	35	多			
機	35	口			
機	36	山			
機	36	香			
機	36	飯			
機	36	田			
機	36	村			
機	36	木			

科	年	氏名	郵便番号	住	所	電話番号
機	36	佐伯				
機	36	向田				
電	36	谷岡				
電	36	久富				
機	37	木島				
電	37	小野				
電	37	木村				
治	37	山田				
化	37	山野				
機	38	野口				
電	38	犬塚				
電	38	栗本				
電	38	高橋				
電	38	益田				
化	38	増田				
化	38	花田				
化	38	宮原				
機	39	吉武				
機	39	砂本				
機	39	常富				
機	39	中原				
機	39	中三				
機	39	宮崎				
機	39	横田				
機	39	米倉				
電	39	田中				
電	39	松本				
金	39	小宮				
金	39	友永				
化	39	浜田				
機 ²	40	大庭				
電	40	石原				
電	40	橘山				
化	40	梅田				
制	40	木代				
機	40	西岡				
開	41	金児				
機	41	甲村				
金	41	山田				
電	41	芳賀				
電	42	加藤				
電 ²	42	加谷				
化	42	尾崎				
制	42	丸庭				
機	43	市木				
電	43	宇塚				
電	43	長澤				
金	43	山中				
金	43	中島				
化	43	高崎				
制	43	森永				
機	43	山根				
機	44	小笠原				
機	44	掛水				
機	44	鶴長				
機	44	松原				
機	44	渡辺				
電	44	大藤				
電 ²	44	藤本				
子	44	熊上				
子	44	伊東				
開	45	八木				
機	45	釘宮				
化	45	柴田				
化	45	田中				
子	45	坂本				
機	46	藤原				
機	46	檜山				
機	46	山本				

科	年	氏名	郵便番号	住 所	電話番号
電	46	新開			
電2	46	袖			
金	46	古河			
金	46	鞍馬			
制	46	山本			
制	46	福永			
子	46	野見山			
子	46	中野			
化	46	細川			
化	47	川越			
制	47	森田			
機	47	鳥飼			
機	48	長尾			
機2	48	浜田			
加	48	古本			
金	48	井上			
加	48	大庭			
制	48	高見			
子	48	泡田			
子	48	小泉			
機	48	平松			
機	48	村上			
機2	49	近藤			
電	49	時松			
電	49	堀川			
化	49	山地			
制	49	佐藤			
開	49	山崎			
機	49	刀禰			
機	50	河野			
機	50	吉川			
機	50	佐伯			
機	50	牛島			
機	50	黒瀬			
機	50	佐伯			
金	50	田中			
加	50	溝尻			
加	50	鳥越			
化	50	首藤			
制	50	中西			
子	50	畑中			
情	50	西野			
機	50	浅田			
機2	51	高橋			
加	51	本吉			
開	51	白倉			
機	52	松本			
機	52	石田			
機	52	坂井			
金	52	中野			
加	52	嶋田			
制	52	板井			
子	52	永田			
金	52	野瀬			
情	53	安永			
開	53	江頭			
機	53	八木			
機	53	潮崎			
機2	54	國栖			
機	54	三寶			
機	54	坂田			
機2	54	榎本			
機	54	舛重			
化	54	山下			
制	54	四辻			
子	54	近藤			
機	54	西原			
	54	早田			
	55	石田			

科	年	氏名	郵便番号	住	所	m=院卒 電話番号
機	55	松元				
機	55	中村				
金	55	孝橋				
制	55	太田				
子	55	光成				
情	55	網田				
環	55	福川				
機	56	岩尾				
機	56	大原				
機	56	島原				
電	56	藤本				
加	56	太田				
化	56	平藤				
機	57	須山				
開	57	大島				
子	57	尾辻				
子	57	川村				
子	57	白水				
子	57	中村				
開	58	片岡				
制	58	島村				
子	58	前田				
開	59	友田				
機	59	近藤				
機	59	津曲				
機	59	稗田				
金	59	大井				
金	59	小川				
情	59	平瀬				
制	60	森上				
環	60	井長				
機	61m	木瀬				
機	61	一瀬				
機	61	福島				
開	62	小嶺				
開	62	三角				
機	62	貞荊				
機	62	諸岡				
機	62	山本				
機	62	山田				
開	63	坂口				
機	63m	永富				
機2	63	小川				
機2	63m	黒田				
機2	63m	御領				
金	63	坂田				
金	63	高以				
化	63	真島				
開	H1	河野				
機	H1	三好				
機	H1	元木				
金	H1	鶴田				
金	H1	山下				
加	H1	古寺				
制	H1	谷口				
制	H1	永瀨				
機	H2	山崎				
電	H2	藤井				
加	H2	今泉				
金	H2	高安				
機	H3	須賀				
機	H3m	竹下				
機	H3	福田				
機	H3m	林				
機	H4m	白石				
設	H4	山根				
設	H4	山本				
機	H4	吉住				
機	H4	内野				

科	年	氏名	郵便番号	住所	電話番号
機	H4m	宗雲			
設制	H4m	公山			
設機	H5	紙谷			
制	H6m	谷尾			
電計	H6m	川口			
設機	H7m	桂			
制	H7	原田			
設機	H8	岡			
設機	H8	小西			
設機	H8	渡邊			
電子	H8	中澤			
設機	H9m	小野			
設機	H9	渡邊			
電	H9	鈴木			
設機	H9	山本			
設機	H9	篠崎			
電電	H9	宮城			
設機	H9	森若			
設機	H10	小早川			
設機	H10m	高橋			
設機	H10m	遠山			
設建	H11	井手野			
設機	H11	中本			
設機	H11	中村			
設機	H11	藤井			
設機	H12	岩本			
機機	H13	賀村			
設智	H14	安倍			
設生	H14	柴田			
機知	H15	山之口			
情知	H15	渡邊			
機械	M2	石塚			

特別会員(敬称略)

氏名	郵便番号	住所	電話番号
元 部長		新莊 (キ9)	
"		勝原	
"		河村	
"		藤原	
"		大西	
"		加藤	
"		西川日	
現 部長		原田	
特別顧問		徳尾	
特別会員		綿貫 (ヤ21)	
"		佐武	
"		山本	
"		香月	キ15
"		豊福	キ15
"		山崎	ツ25
"		伊藤	

不明者

キ22田辺	機34塩谷	機37倉益	電38藤本	機39常富	電39高宗
開41ラストム	電42片岡	電42浜本	金43進藤	49宮本	機50竹村
化54松岡(帆足)	機II51竹地	金52房前	開52の場	情53三浦	子53政近
機54諸橋	環54山内	化54西村	子54木場	機II54石野田	制54倉地
環56三原	情56石松	子55瀨上	子56徳永	化56府内	機56武藤
電57小野	開58高橋	機56高須賀	化57石井	電57大野	化57畠中
機59那須	制60小林	制58永井	機58浦田	金58広田	機59長沼
機H5家守	設機H5松尾	機61中村	機H1近藤	機H4山下	機H5山口

編集後記

総会が無事に終わってつくづく考えました。自分はまだ若い、まだまだ、若い連中には負けないと思っていますが、総会の原動力は、若い人のパワーでした。

部誌(OB会誌)も3号を数えます。そこで次号の編集を新しいスタッフで取り組んで貰いたいと思います。

もう一つ、編集担当者(嘉村)の個人的な理由(転居・職替え)で、一時編集活動が滞り、みなさん大変ご迷惑をおかけしました。最後のご奉公でもっときっちりとしたかったのですが、まことに申し訳ありません。これまでのご協力感謝し、他方でお詫びいたします。 嘉村記

明専・九工大自動車部OB会総会



発行日 平成16年9月20日

発行者 九州工業大学自動車部 主将 犬丸

明専・九州工大自動車部OB会会長 松田

印刷所

印刷工房フジワラ

編集発送

嘉村